



くくむ

豊かな実りに
感謝を込めて



2014
平成26年
2月号
第61号

実る稲穂 喜びの収穫

＊ 嘉芸小5年生が稲刈り体験 ＊



嘉芸小学校5年生が夏場に植え付けた稲が収穫のときを迎え、12月12日、豊かに実った稲の刈り取りを行いました。

田んぼは屋嘉区の前田健次さんのご協力で提供していただいているもので、J・Aおきなわの池原直利さん、町役場産業振興課の伊芸直樹さんの指導のもと稲刈りが行われました。

素足で田んぼに入り稲を刈り取る初体験の感覚に緊張しながらも、児童たちは楽しそうに稲を収穫していました。金城柊佑くんは「初めてやった。難しいけど楽しい」と笑顔を見せていました。

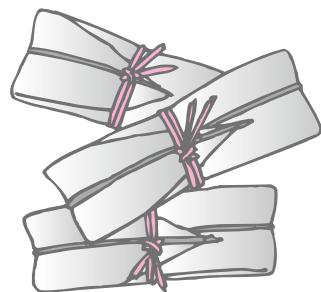
今回収穫した稲は、天日干し・脱穀した後、13歳祝を記念してもちつき大会を行う予定となっています。

嘉芸小学校でムーチャーづくり

町婦人会連合会がボランティアで指導

12月12日、嘉芸小学校で2年生を対象に、金武町婦人会連合会（上江洲民子会長）の指導のもと、ムーチャーづくりが行われました。

家庭科の時間を利用して行われたムーチャーづくりには、10名の町婦人会連合会の皆さんが参加し、優しい指導のもと、もちをこねたり丸めたり、月桃の葉にくるんで蒸したりと児童達も楽しそうに取り組んでいました。完成後にはみんなでおいしくいただき、満足そうな表情を見せていました。



▲ムーチャーづくりを指導した婦人連合会のみなさん



▲おいしいムーチャーになあ〜れ!



▲全国大会派遣決定を報告した金武中ロボコンチームの皆さん(写真中央)

11月3日に行われた第14回創造アイデアロボットコンテスト沖縄県中学生大会において金武中学校から出場したBlack Vチーム、YELLOW BOOSTERチーム(※チーム構成については以下に表記)が授業内部門でそれぞれ1位と3位に入賞し、12月7日に行われた同コンテスト九州地区中学生大会に派遣されました。同大会においてもBlack Vチームが3位に入賞し、1月25日から東京都で開催される第14回全国中学生ものづくり教育フェア内の、創造アイデアロボットコンテスト全国大会への出場が決定しました。また、同教育フェア内で行われるパソコン入力コンテストにおいても、金武中学校3年生の伊波智哉くんが予選を通過し、全国大会へ派遣されることと

自慢のマシンで 全国の舞台へ!

金武中学校 ロボコンチームが 全国大会へ出場!

なっております。

12月19日には、ロボコンチームが儀武町長や比嘉教育長を表敬訪問し、九州大会入賞と全国大会への派遣決定を報告しました。報告後にはロボコンの実演を披露し、ロボコン競技について説明しました。金武中学校ロボコンチーム及び伊波くんの全国大会での活躍が期待されます。



▲パソコン入力コンクールに出場する伊波智哉くん

チーム名	氏名	学年	部門	成績等
Black V	仲村 寿仁弥	3年	ロボットコンテスト 授業内部門	沖縄県大会……1位 九州大会……3位 ※全国大会へ派遣
	吉田 匠吾	3年		
	赤山 蓮	1年		
YELLOW BOOSTER	宜志富 勇吾	3年	ロボットコンテスト 授業内部門	沖縄県大会……3位 九州大会へ派遣
	花城 翔五	3年		
	仲間 陸	2年		
金武中学校	伊波 智哉	3年	パソコン入力コンクール	予選通過 ※全国大会へ

石川望穂さんが沖縄県知事賞 社会を明るくする運動作文コンテスト



▲受賞を報告した石川望穂さん(写真中央)

平成25年度社会を明るくする運動作文コンテストにおいて、金武中学校3年生の石川望穂（みおん）さんが、中学生の部で沖縄県知事賞を受賞しました。

12月19日に儀武町長や比嘉教育長を表敬訪問し、受賞を報告した石川さんは「いじめについて作文を書いた。いじめがなくなっただけではない」と訴えました。同席した保護司の松川さんは「石川さんが修学旅行のため表彰式に代理で参加したが、代読で作文が読み上げられると涙を流す人もいた。とても素晴らしい作文だ」と受賞を喜びました。

以下に石川さんの作文の全文を掲載し、ご紹介します。

みんな大切な人

金武中学校3年 石川望穂

最近、テレビを点けると、子供たちの自殺の報道をよく目にします。その多くの原因は、いじめというものでした。その言葉を耳にする度に、私の心は痛みます。私は、現在中学三年生の十五歳です。生まれてきて、私はまだ十五年という人生しか歩んでいません。その中で、嫌な思いをしたことが何度もあります。私に汚い言葉を浴びせている人は、顔が笑っていて、喜んでるように見えます。でも私は、心の中で泣きながらも平気な顔を作ります。私が、嫌だと叫ばないから、泣かないから、この苦しい思いは届かないのでしょうか。そんな時、私は普段、考えたこともない死を頭に浮かべることもありました。死ぬって怖いのかな？死んだら何もわからないから、苦しまなくていいのかな？その方が楽になれるのかな？など考える日々が続いたこともありました。そんな心に傷を負ったことがある

私は、いじめという言葉を聞くだけで、とても嫌になり、私と同じくらいの年齢の人達が自殺したという報道を見ると、自分のことのように胸が痛くなりま
す。いい加減、一つでも、一つでも良いから、いじめが無くなれば良いのにな、と私は毎日のように思います。いじめている人は、いじめという感覚がないのかも知れません。その顔は、まるで喜んでるのかもしれない。でも、それは本当に正しいことですか？あつていいものなですか？一度よく立ち止まってみて、相手の顔をじっくり見てあげてください。どのよう
な顔をしていますか？顔は、ひきつりながらも笑顔でふるまっているかも知れません。でも、しっかりと心を見てほしいと思います。人は心なのです。嫌なことや苦しいこと、嬉しいことを一番感じるのは、心なので
す。思いやりも心から溢れ出しています。そんな嫌な心を見てあげられていますか。その時、あなたの気持は、どのような気持ちで、そういうことをやるのですか。人間は変われると思
います。変わらなければいけない

と思います。同じような思いをする人が、一人でも多く減ってほしいのです。いじめとは、どのようなものだと思いますか。私は、一人一人の、それぞれの個性や人格を否定するというこ
と、安心して楽しく学校生活を過ごせたり、その人らしい個性を社会で生きるうえで活かせな
かったり、生きる権利を奪う卑劣なものだと思います。そこで私は、人権という言葉の意味を調べてみました。人権とは、「人の権利」「人であれば無条件に持っている権利」と書かれて
いました。人の権利とは、誰もが自分の個性を大切にし、社会で自分らしく生きていけること
だと思えます。無条件に持っている権利とは、私達一人一人の考えや個性を分かり合い、決して邪魔されてはいけない、そして、させないことだと思いま
す。人を傷つけること、いじめは相手を悲しませるだけでなく、人の幸せも生きる権利も、自分自身の幸せも奪われるもの
だと思えます。私の場合、嫌なことや、苦しい思いをしたとしても、家族に心配させたくな
い、その思いが突っ走り打ち明

けることさえ出来ませんでした。死を浮かべ考えることがあった私は、ある言葉を思い出しました。私には、三歳離れた脳性麻痺の姉がいます。姉が小さい頃、母は、この子を本当に自分の手で育てられるかな、夜中
通しの面倒で大変苦労したとい
います。子育てが嫌になったこ
とも数多くあったといえます。
そんな時、お母さんのお腹に五
カ月という新しい命が宿りまし
た。それが私です。お母さん
は、私の健康が何より心配で産
む決意ができなかったといいま
す。母は、悩んだ末に私を産ま
ない覚悟で病院に行ったそうで
すが、私は五カ月になり、手も
足もはつきり見え、処置はでき
ませんと言われたそうです。ま
た、私のおばあちゃんや、おば
さん、お父さんに処置すること
を反対され、私は沢山のひとの
愛情や祝福を受けて母に出逢う
ことができました。私が生まれ
たことは、当たり前でなく、感
謝すべきことです。母は、私の
命の恩人でもあるのです。いじ
めは、相手を傷つけるだけの話
ではありません。我が子の命を
愛し受け止めた相手の母親も苦

しめることになるのです。皆、かけがえのない宝物で大切な人
なのです。何もかも全て奪うこ
とは、もうやめて下さい。今の
社会は、共存・共有し合うこと
が大切だと思えます。共に一つ
になり、共に生きていくこと、
困っている人に手を差し伸べて
あげる、悩んでいる人に声を掛
けてあげる、悲しい思いをして
いる人にそつと寄り添ってあげ
る、寂しい思いをしている人を
励ましてあげられる、そんな人
が増えてくれたら良いなと強く
思います。私は、弱い者いじめ
はしません。いじめを見て見ぬ
振りをしないことを誓い、身近
に居る友達を大事にし、人の笑
顔を守ってあげられる強き私で
ありたいと思います。みんな大
切な人だから、いじめられてい
けない、させていけないので
す。



平成26年祝金武町成人式

成人記念
Kin 61 Chu
2014



平成26年金武町成人式

1月5日(日)、町立中央公民館で平成26年成人式が行われました。

今年の成人式は、平成5年4月2日〜平成6年4月1日までの方が対象となり、99名の新成人が参加しました。新成人を代表して儀武雄太さんが「金武町の将来は私たちにかかっている。みんなが良いことをたくさんしてイメージアップを図ろう。」と誓いの言葉を述べました。今回の成人式では特別講演に県内で活躍するお笑い劇団FECオフィススのまーちゃん(小波津正光さん)をはじめ、「ウーマクーパーボイズ」「パラナイサーライナイ」の2組のお笑い芸人が「成人」に関するコントを披露し、新成人の門出を笑いで盛り上げ、笑顔でいっぱい成人式となりました。

また、式典後には金武町青年団協議会、各区青年会による祝賀会も開催され、久しぶりに会う同級生や恩師などとの懇談も賑やかな様子で過ごしていました。



比嘉美里さんが沖縄県歯科医師会長賞 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

平成25年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールにおいて、金武中学校3年生の比嘉美里さんが、沖縄県歯科医師会長賞を受賞しました。

12月25日に比嘉教育長を表敬訪問し、受賞

を報告しました。

比嘉美里さんの絵は「80歳まで20本の歯を残そう」という「8020運動」を訴えるもので、沖縄らしくシーサーを描くなど、とても素晴らしい絵となっています。



▲比嘉さんの受賞作品



▲受賞を報告した比嘉美里さん

第36回 金武町ミニサッカー大会

平成25年12月15日(日)に金武火力発電所グラウンドにおいて、第36回金武町ミニサッカー大会が開催されました。町内外から、一般の部18チーム、小学生の部6チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

FC金武とバカンスの対戦となった一般の部決勝戦では、FC金武が2対0で圧倒的な強さを見せ見事優勝に輝きました。また、小学生の部では、FC金武JrA対FC金武JrBの対決となり1対0で接戦を制したFC金武JrBが優勝に輝きました。



▲小学生の部優勝のFC金武JrB



▲一般の部で競り合うFCノマーズとDREM

町内から2年連続の快挙!

山城尚くんが沖縄県童話・お話大会で最優秀賞



▲受賞を報告した山城尚くん(写真中央)とご家族のみなさん

12月13日に行われた平成25年度沖縄県童話・お話大会・意見発表大会(主催・沖縄県PTA連合会)において、中川小学校6年の山城尚(じょう)くんが小学校高学年男子の部で最優秀賞を受賞しました。

山城くんは小学校2年生から金武町代表で国頭地区大会等に出場しており、今回、念願の沖縄一に輝きました。12月19日には、儀武町長、比嘉教育長を表敬訪問し、受賞を報告しました。山城くんは「県大会の優勝が目標だった。結果を聞いても信じられなかった」と喜びを語りました。

なお、同大会での最優秀賞は、昨年金武小学校の仲間こころさん(現2年生)が受賞しており、町内から2年連続で受賞の快挙となっています。以下に、沖縄県童話・お話大会で最優秀賞を受賞した山城尚くんの作文の全文を掲載しご紹介します。

僕の大切な弟

中川小学校六年 山城尚

僕には小学一年生になる弟がいます。

「じょう待つてよ、いつしよに学校行こう。」

「うん、いいよ。いつしよに行こう。」

年の差五歳。僕が六年生で弟が一年生。一緒に通学しながら

「今日、体育があるから楽しみ。給食なにかな」こんな会話をしています。

赤ちゃんだった弟がこんなに大きくなるなんて、六年前は想像が付きませんでした。

お母さんが「いたたた。赤ちゃんが生まれるかもしれない。急いで病院へ行こう」お腹をおさえながら苦しそうにしています。

「お母さん大丈夫? しっかりして、頑張つて。」

僕たちは病院へむかいました。

しばらくして看護婦さんが「赤ちゃんの頭が見えますよ。もうすぐ生まれますよ。」

僕はこの言葉を聞いて胸がドキドキしていました。

「神様お願いします。お母さんと赤ちゃんを守ってください」と心の中で何度も何度もお願いをしました。

分娩室に入って一時間ぐらいたった頃、「うんぎゃ〜」と大きな産声が部屋中にひびきわたりました。「やったー、赤ちゃんが生まれました。」

お母さんもお父さんもお姉ちゃんも僕も涙を流しながら喜びました。

僕はこの時、お兄ちゃんになっただんだな！と実感しました。

弟が来てからは大変な毎日でした。

お母さんが忙しい時は、弟を抱っこしたりおもちやで遊ばせたり、けがをしないように見守るのが僕の役目になりました。

大きな病気もせず健康ですくすくと育った弟が四歳の頃です。

ブランコが大好きな弟が

「お兄ちゃん、ブランコのりたーい！」

と大声でかけよってきました。

「じえい！危ない！」

僕は急にブランコに突っ込んで

くる弟をよける事が出来ず

弟はブランコで頭を強く打って、血を流して倒れてしまいました。

僕は、近くにいたお母さんに

「じえいが、頭から血が、じえいが倒れて」

もう何を言っているのかわかりませんでした。

すぐ病院へ運ばれた弟は検査を受けました。

検査結果は異常なしでみんなひと安心。

「はあーよかった。」僕は体中の力がぬけた感じでした。

ぱっくりと開いてしまった頭の傷をぬってもらい、弟も落ち着きを取り戻して

「お兄ちゃんごめんなさい。」

と弟があやまってきました。

僕は、また涙が出て、

「もうブランコにつっこまないよ。」

と笑顔でこたえました。

弟はなんでも僕のまねをします。

僕がゲームをしていたら、

「じょう、じえいもやる。」

なんでも僕がやっているのを横取りして、けんかになりお母さんに怒られます。

「お兄ちゃんだから弟にゆずりなさい。」

僕は、この言葉が大嫌いです。

でも、眠るときやお風呂に入るとき、ご飯を食べるときも

「じょうと一緒にがいい。」

と言ってくる弟がかわいくて大好きです。

これからも弟と仲良く、僕みたいになりたいと思ってもらえるお兄ちゃんになりたいです。

ソフトテニス九州レディース選手権 ダブルス・団体戦優勝

12月14日・15日に県総合運動公園庭球場においてソフトテニス九州レディース選手権が行われ。金武町出身の宮城志緒理さんが初出場し、個人



▲ダブルス・団体戦優勝を飾った宮城志緒理さん(右下)

戦の決勝戦で福岡県代表に4-2で勝ち見事初優勝に輝きました。また、15日に行われた団体戦でも決勝で福岡県代表と対戦しました。2勝2敗で迎えた最後のペアで出場し相手を見せつけ3勝2敗で福岡県代表を破り見事、沖縄県団体戦初優勝に貢献しました。



▲ロボコンチームへ寄附



▲少年野球チームへ寄附

金武中野球部父母会が寄付 ロボコンチーム、少年野球チームの派遣費

金武中学校のロボコン九州大会派遣及び屋嘉アトラス、金武少年イーグルスの沖縄県学童軟式野球大会宮古島大会派遣決定に伴い、12月6日、金武中学校野球部父母会(伊芸仁会長)が派遣費の一部を寄付しました。

伊芸会長は「野球部に所属していた仲村寿仁弥くんがロボコンの九州大会に派遣されることとなった。九州でも頑張ってもらいたい。また、町内の少年野球2チームが宮古島での県大会に派遣される。両チームとも頑張ってもらいたい。費用の足しになればと思い寄附した」と寄附の意義を述べました。

受け取った仲村くんは「ありがとうございます。九州大会でも頑張りますので応援よろしくお願いします」と感謝を述べました。寄付は屋嘉アトラス父母会長の伊芸隆さん、金武少年イーグルスコーチの大城龍吾さんにもそれぞれ手渡されました。

吉野憲次さんが金武中学校にマツを寄贈



▲吉野さんを中心にマツを植樹する
ボランティアのみなさん

昨年度に金武中学校にマツを寄贈していただいた吉野憲次さん(並里区)から、12月21日、新たにマツを寄贈していただきました。

寄贈されたマツは、吉野さん、友寄校長のほか、金武町青年団協議会の皆さん等のボランティアで、金武中学校グラウンド(バイパス側)に植樹されました。友寄校長は「学校の環境整備にご協力いただき大変ありがたい」と感謝を述べていました。

吉野さん、新たに素敵なマツの木を寄贈していただき、ありがとうございます!

金武中10期生が金武中学校に寄付

1月8日、金武中学校10期生有志の皆さんが、金武中学校(友寄隆央校長)に寄付金を贈呈しました。

今回の寄付は、10期生の皆さんが古希祝いを迎えるにあたり、生徒たちに役立ててもらおうと行ったものです。贈呈式には古希祝実行委員会の安富祖朝正会長、新里努副会長等が参加し、友寄校長に寄附を手渡しました。

友寄校長は「大変ありがたい。何か形に残るものを検討している。生徒の為に役立てたい」と感謝を述べました。



▲写真左から新里努さん、安富祖朝正さん、友寄校長、石原末子さん

プロスポーツチームの施設利用について

この春、金武町内体育施設において下記のチームが練習を行う予定です。
日頃見る事の無いプロスポーツ選手の練習姿をこの機会に是非ご覧ください。

金武町ベースボールスタジアム

①起亜タイガース（韓国）：

平成26年1月15日～3月4日まで
※楽天の期間は町外の施設で練習予定です。

②東北楽天ゴールデンイーグルス：

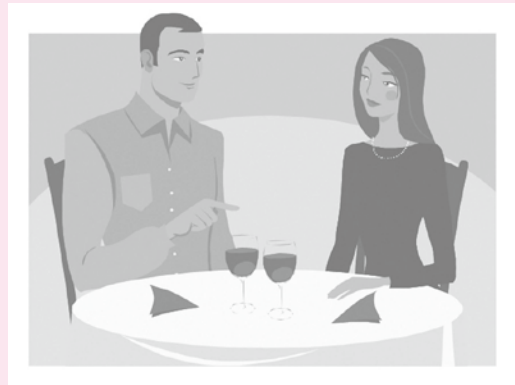
平成26年2月15日～2月23日まで
※歓迎セレモニー：2月15日午前9時半予定
※2月18日午後1時から本町にて練習試合予定。
【楽天イーグルス 対 起亜タイガース】

※各チームの練習日については予定ですので変更の可能性もあります。

第5回婚活応援プロジェクト（主催：金武町立中央公民館）

独身さんいらっしゃ〜い！

一歩がなかなか踏み出せない方を応援します！
一人より二人で歩む道は二倍楽しいはず！
是非この機会に参加してみてください！



○参加条件：結婚したいと思っている男女

※男性は金武町在住者

○日時：平成26年3月8日（土）午後7時～10時

○場所：中央公民館・中ホール

○持ち物：あなたの勇気

○参加費：男性2,000円女性1,000円

○服装：いつもよりちょっといい服装

○締切：平成26年2月28日（木）午後5時

※参加費を添えて中央公民館事務所に申し込んでください。

遠方の方に関してはFaxでも受け付け可能です。

問合せ先：金武町立中央公民館 TEL.968-2992 FAX.968-5374

✂キリトリ

***申込用紙** ※全ての欄を記載して提出して下さい。

ふりがな 氏名			年齢	
住所			電話 (携帯)	
職業	会社名()		内容()	
その他 (プロフィール PR等)				

平成26年度 金武町教育委員会嘱託員等の募集について

金武町教育委員会の各種業務に従事する嘱託員等を次のとおり募集します。

1. 募集内容

職 種	資格・免許・要件等	雇用期間	雇用予定人数
◆学校教育課			
預かり保育	幼稚園教諭免許	1年	若干名
特別支援教育支援員	経験者又は教員免許保持者、ヘルパー等の有資格者		
学習支援員	教員免許		
IT指導業務	情報通信技術等要資格者		
特別支援教育推進員	特別支援に関する知識・経験を有する者		

職 種	資格・免許・要件等	雇用期間	雇用予定人数
◆社会教育課			
学芸員嘱託員	博物館学芸員資格	1年	若干名
町史編さん嘱託員	大学で民俗・歴史分野を専攻、若しくは金武町の民俗・歴史に詳しい方		
社会教育施設等清掃業務			
体育施設等管理業務	運転免許、パソコン操作できる方		
町営プール事務嘱託員	運転免許、パソコン操作できる方		

2. **受付期間**:平成26年2月5日(水)～平成26年2月21日(金) 午前8時30分～午後5時15分
 ※土日・祝日及び業務時間外は受け付けておりません。

3. 提出書類

- ①写真付履歴書
- ②平成25年の納税証明書
- ③資格、免許等の写し(資格等を要する職種のみ)
- ④健康診断書(全職種) ※様式は役場ホームページからダウンロードできます。

4. 提出先

金武町教育委員会 中央公民館2階
 学校教育課 NTT電話 968-2991 有線電話 8-2991
 社会教育課 NTT電話 968-8996 有線電話 8-8996

5. **その他**:町内に住所を有する方を優先致します。
 詳細については上記提出先にお問い合わせください。

**金武町教育委員会
 広報「くくむ」の
 変更について**

先月発行の1月号をもって、金武町教育委員会「くくむ」は第60号を発行することができました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

さて、今回第61号を発行するにあたり、「くくむ」が町民の皆様にとって、より楽しく、読みやすい広報となるよう、UDフォント(ユニバーサルデザインフォント)を含めた広報のスタイルを変更することになりました。これからもより読みやすい広報にするため、工夫・改善に取り組んでまいりますので、今後「くくむ」をよろしくお願います。